

痛風・高尿酸血症及び尿酸関連疾患の病態解明に関する

研究

以前に J-MICC Study 京都フィールド第二次調査、京都フィールド第三次調査にご協力いただいた方々の調査票、測定情報や血液・尿情報を使って下記の研究を実施しています。

この研究は防衛医科大学を研究代表者とし、多くの施設と共同で実施されるものであり、実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

痛風は高尿酸血症（血液中の尿酸値の高い状態）に引き続いて引き起こる生活習慣病の1つで、激痛を伴う関節痛や、尿路結石を引き起こすのみならず、高血圧、腎臓病、虚血性心疾患、脳卒中などのリスク因子となることが知られています。痛風、高尿酸血症ともに、環境要因のほか遺伝要因の関与が強いことが分かっていますが、その全容はいまだ明らかではありません。そこで、本研究では、痛風と高尿酸血症や尿酸関連疾患（高尿酸尿症、低尿酸血症など）の遺伝要因を明らかにして、その病気の仕組みを明らかにすることを目的として実施します。これにより、個人の疾患リスクの判定や、効果的な新しい予防法や治療法の開発に結びつくことが期待できます。

研究の方法

・対象となる方について

2014 年 8 月 30 日から 2017 年 12 月 3 日までの間に、J-MICC study 京都フィールド第二次調査に参加協力くださった方および 2023 年 3 月 11 日から 2024 年 7 月 27 日までの間に、京都フィールド第三次調査に参加協力くださった方

・研究期間： 医学倫理審査委員会承認後から 2032 年 3 月 31 日

・方法

J-MICC Study 京都フィールド第二次調査において提出していただいた尿、血液、質問票内容、測定結果、血液情報等を使用させていただきます。

・研究に用いる試料・情報について

情報：病歴、生活習慣 等

試料：尿、血球（バフィーコート）

・外部への試料・情報の提供

この研究は、J-MICC Study 京都フィールド第二次調査において皆様から提供いただきました尿と血球および質問票データや測定結果を防衛医科大学分子生体制御学教室に送付し、更に詳しい測定と解析を行う予定です。提供の際、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

提供先：防衛医科大学 分子生体制御学教室

・個人情報の取り扱いについて

J-MICC Study 京都フィールド第二次調査にご協力いただいた方々の調査票や血液・尿の情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などのご協力いただいた方々を直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。ご協力いただいた方々と研究用の番号を結びつける対応表のファイルは京都府立医科大学で保管します。ファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。

また、この研究の成果を発表する場合にも、ご協力いただいた方々が特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究代表者（京都府立医科大学地域保健医療疫学教室 講師 小山晃英）の責任の下、厳重な管理を行い、ご協力いただいた方々の情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・試料・情報の保存および二次利用について

今回、新たに測定しました尿検査結果は、将来新たな研究を行う際の貴重な情報として、既存の J-MICC Study の情報に加えさせていただき、J-MICC Study の保管期間と同様に扱い、新たな研究を行う際の貴重な情報として利用させていただきたいと思います。新たな研究を行う際には、あらためてその研究計画を医学倫理審査委員会でも審査し、承認を得ます。

研究組織

研究責任者

京都府立医科大学 地域保健医療疫学教室 講師 小山晃英

研究代表（統括）者

防衛医科大学 分子生体制御学 教授 松尾洋孝

共同研究機関

久留米大学医学部、国立遺伝学研究所、佐々木研究所附属佐々木研究所、金沢大学、東京大学、国立循環器病研究センター、理化学研究所、静岡県立大学、京都大学、滋賀医科大学、横浜市立大学、東京慈恵会医科大学、東京薬科大学、愛知学院大学、自治医科大学、東京医科大学、独協医科大学、赤坂中央クリニック、長瀬クリニック、両国東口クリニック、つばさクリニック、帝京大学、京都工場保健会診療所、みどりヶ丘病院、名古屋膠原病リウマチ痛風クリニック、所沢ハートセンター付属しんとこ駅前クリニック、千葉メディカルセンター、済生会横浜市東部病院、順天堂大学、埼玉医科大学、仁友会北彩都病院、北海道社会事業協会富良野病院、高知大学、大阪医科大学、大阪市立総合医療センター、Qingdao University、Shanghai Jiaotong University、Wayne State University School of Medicine、Kaohsiung Medical University、National University of Kaohsiung、Harvard Medical School、University of Alabama Birmingham、University of Otago、University of Auckland、Charles University、La Paz University Hospital、University of Freiburg、University of California、帝京平成大学、University of Zurich、Institute of Social and Preventive Medicine in Lausanne、Uniformed Services University、国際電気通信基礎技術研究所脳情報通信総合研究所、所沢明生病院、名古屋大学、名古屋市立大学、敦賀市立看護大学、京都府立医科大学、徳島大学、愛知県がんセンター研究所、九州大学、佐賀大学、鹿児島大学、慶應義塾大学、日本赤十字社近畿ブロック血液センター検査開発課、東北大学東北メディカル・メガバンク機構、岩手医科大学、医歯薬総合研究所、放射線医学総合研究所、帝京科学大学、大阪大学、山形大学、所沢中央病院、所沢美原総合病院、わかさクリニック、神田西口うちだ内科、森戸整形外科医院、自衛隊中央病院、自衛隊仙台病院、自衛隊札幌病院

遺伝情報の開示

遺伝子の解析結果については、基本的には通知いたしません。ただし、今後に十分な追試などが試みられ、結果の解釈が確実になり、医学的な知見が確立されている場合などにおいては、本人の希望により結果を知らせることができる可能性があります。

遺伝カウンセリング

研究代表機関である防衛医科大学において、必要に応じて、希望者には、東京大学、慶應義塾大学などの専門のカウンセリング外来を紹介します。本学においては、京都府立医科大学附属病院遺伝相談室（千代延友裕室長）にて遺伝カウンセリングが利用可能です。

お問い合わせ先

ご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて参加して下さった方もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2024 年 12 月 31 日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも皆さんに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学地域保健医療疫学

講師 小山晃英 電話：075-251-5789